

平成26年度
花巻市行政評価報告書

平成26年9月
花巻市行政評価委員会

平成26年度

花巻市行政評価報告書

目次

1	委員長あいさつ	1
2	花巻市行政評価の概要	
	① 行政評価とは	2
	② 行政評価の目的	3
	③ まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価	3
	④ 行政評価の手法	4
3	評価の視点	5
4	評価対象の施策	6
5	評価スケジュール	7
6	評価検証シート	
	⑤ しごと部会	8
	⑥ 暮らし部会	12
	⑦ 人づくり・地域づくり部会	16
7	行政評価に関する提言	20

参考資料

・花巻市行政評価委員会設置要綱	21
・委員名簿	22

委員長あいさつ

「行政評価」とは、行政が実施している政策、施策また事務事業について、成果指標等を用い、その有効性や効率性、必要性を評価することである。行政が自ら住民の視点に立って点検、評価し、その結果を次の企画立案に生かすことにより政策の質的向上を図る行政運営の一手法である。花巻市では平成 19 年度からこの行政評価を導入している。

花巻市行政評価委員会（以下、「委員会」と呼ぶ）は、行政評価の客観性と透明性の向上、市民参加による行政評価の充実を図ることを目的として、平成 23 年度に設置された。委員会の所掌事項は、（１）市が実施した行政評価の結果について評価すること、（２）行政評価の改善について市長に提言すること、（３）その他行政評価に関し意見を述べることである。とりわけ市が、評価結果をわかりやすいかたちで公表し、市民に対し説明責任を果たし、そのことにより市民の市政への共通認識を深め、市民と行政との協働の取り組みを進めるために、委員会の活動は微力ながらそれに資するものであると考えている。

花巻市は、平成 26 年度から 10 年間で計画期間とする新たな「花巻市まちづくり総合計画」を策定した。これを機に、行政評価は従来の事務事業評価を中心とした評価から、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した「施策評価」を中心とする新たな評価システムの運用に移行している。施策評価は、政策目的を達成するための手段としての施策の有効性、施策を構成する事務事業の妥当性に関して評価をするものである。

「花巻市まちづくり総合計画」では 21 政策、72 施策、約 200 の事務事業が体系化されている。委員会では、「しごと」「暮らし」「人づくり・地域づくり」の部会ごとに 2 つの政策をとりあげ、その政策ごとに 2 つの施策を評価対象として選定し（合計 12 施策）、それぞれの部会においてヒアリングを行い、対象となっている行政評価の結果について検証している。各部会、また全体会議における評価と検証に関する結果等は本報告書の本文に記載のとおりである。

今年度の委員会は、7 月 24 日に第 1 回目を行ってから評価結果をまとめる 8 月 25 日まで、お盆をはさむかたちで約 1 か月間、全 6 回が開催された（部会・全体会議）。多忙な中、貴重な時間を割いて議論をしていただいた各委員、ヒアリングに際し資料を用意し丁寧な説明をしていただいた施策主管課の方々、委員会の円滑な運営に尽力いただいた事務局の方々、全ての関係各位に深く感謝申し上げますものである。

本報告書が、今後の花巻市の行政運営の質的向上を図る一助となれば幸いである。

2014年9月

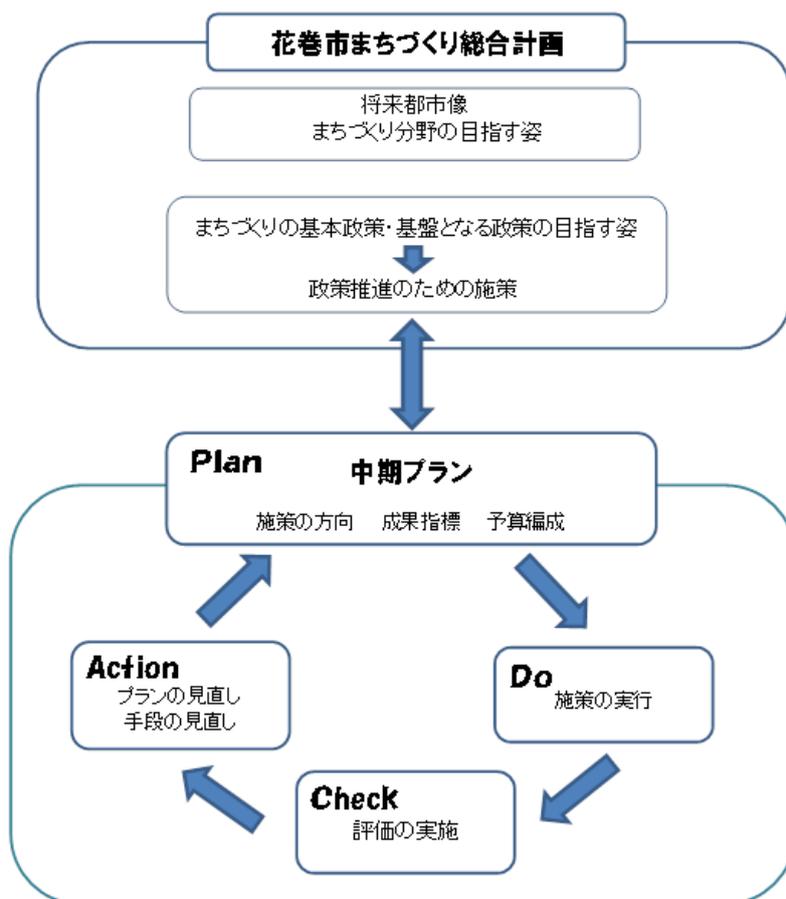
花巻市行政評価委員会 委員長 鈴木 健

花巻市行政評価の概要

行政評価とは

行政評価とは、花巻市まちづくり総合計画における政策や施策、事務事業についてどのような成果があったかを客観的に評価し、その結果を次の施策等に反映させるためのものです。

具体的には、花巻市まちづくり総合計画の政策体系に沿って、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）のサイクルにより、前年度の結果を振り返り、そこから改革や改善の方策を考えて、次年度の施策の方向や予算等に反映させます。



行政評価の目的

(1) 効果的・効率的な行政運営の推進

限られた行政資源（ヒト、モノ、カネ）を最大限活用し、事務事業の効率化、適正化を図るとともに、目的の達成状況等を評価して見直し・改善を行います。

(2) 市民への説明責任と行政情報の共有

評価結果をわかりやすいかたちで公表することで、市民に対する説明責任を果たすとともに、市政への共通認識を深め、市民と行政との協働の取り組みを進めます。

(3) 職員の政策形成能力の向上と意識改革

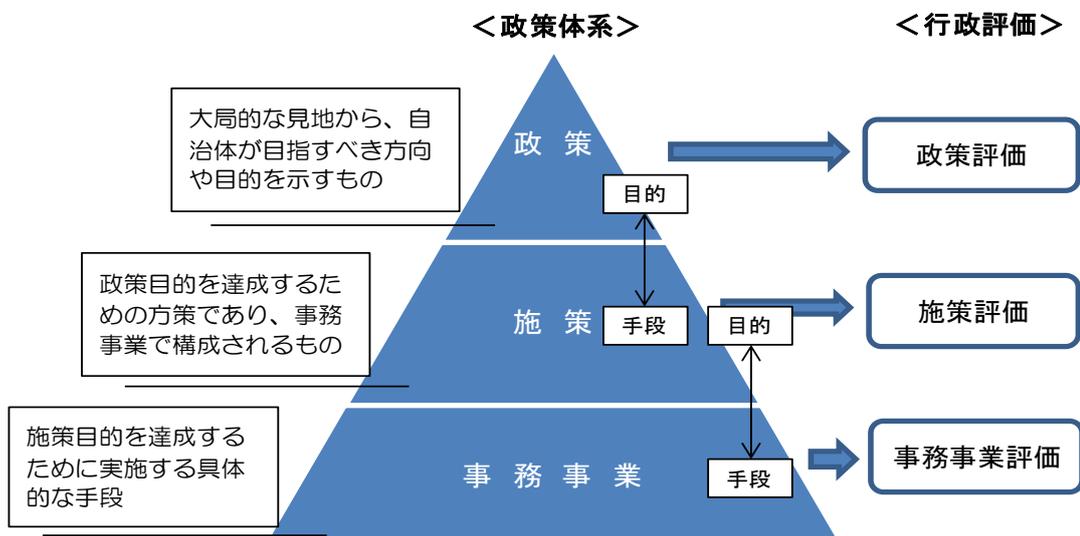
評価を通じ、目的・成果・コスト意識を持つことにより、職員の政策形成能力の向上や財源を効率的・効果的に活用する意識の徹底を図ります。

(4) 総合計画の進行管理

総合計画の各施策について、成果指標の達成状況の把握等により、その進行管理を行うとともに、施策目的達成のための事務事業の構成など、施策の方向性を検討し、次年度の重点施策の策定と予算編成への活用を図ります。

まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価

花巻市まちづくり総合計画は、本市の目指すべき将来都市像「市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く 笑顔の花咲く^{あつぽ}温か都市^まイーハトーブはなまき」を実現するため、5つのまちづくりの分野の目指す姿の下に、政策、施策、事務事業の3つの階層によって体系が構成されています。本市の行政評価は、この体系に基づいて実施しています。



行政評価の手法

平成26年度から10年間の計画期間とする花巻市まちづくり総合計画の策定を機に、従来の事務事業評価を中心とした評価から、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した施策評価を中心とする評価システムを運用します。

(1) 政策評価

市政の方向を示す政策や政策を構成する施策を大局的な視点で評価し、政策の課題の総括と次期中期プランの政策の方向性を検討します。【中期プランの最終年度に実施】

(2) 施策評価

政策目的を達成するための手段としての施策の有効性、また、施策を構成する事務事業が妥当かを評価します。評価の主な視点は以下のとおりです。

- 施策の目的と目標の確認
- 施策の現状と課題の認識
- 施策を構成する事務事業の貢献度等の検証

(3) 事務事業評価

成果指標の達成状況の検証を行うとともに、施策目的を達成するための手段である事務事業について目的妥当性、有効性、効率性、公平性の視点で評価を行います。

評価の視点

市では、総合計画の策定を機に今年度から施策評価を中心とした行政評価システムを運用したことから、行政評価委員会においても、従来の事務事業評価の評価ではなく、市が行った施策評価が適切であるか評価を行うとともに、今年度から本格運用した行政評価手法についても検証を行いました。

① 成果指標について

- 成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。
- 目標値の設定は適切か。
- 他に考えられる指標はないか。
- 成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか。

② 施策を構成する事務事業について

- 施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。
- 目指す姿の実現に貢献している事業か。（貢献度の評価・判断理由は適切か。）
- 市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。
- 施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。
- 他に考えられる事業はないか。

③ 施策の総合的な評価

- 施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。

④ シート記載内容について

- 施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。

評価対象の施策

市の総合計画では将来都市像と5つのまちづくり分野の「目指す姿」を掲げ、その「目指す姿」の実現のために実施する21の政策と72の施策を示しています。

行政評価委員会での評価にあたり、しごと、暮らし、人づくり・地域づくりの3部会を設置し、各部会において評価対象を決定し、計12施策の評価を実施しました。

評価対象

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会
1-4 観光の振興	1 観光の魅力向上	しごと
	2 観光情報の発信	
1-5 農工商観連携の推進	2 特産品の開発	
	3 企業誘致の推進	
2-5 福祉の充実	1 地域福祉の推進	暮らし
	2 高齢者福祉の充実	
2-6 健康づくりの推進	1 健康づくりの支援	
	3 地域医療の充実	
3-1 子育て環境の充実	1 子育て支援の充実	人づくり・ 地域づくり
	2 家庭の教育力向上	
3-3 生涯学習の推進	1 自主的学習の推進	
	2 青少年の社会教育	

評価スケジュール

部会ごとに、市が内部評価で作成した施策評価シート（平成 25 年度実績評価）の点検と担当課に対するヒアリングを実施し、評価検証シートを作成しました。

回	日時	会議	内容	会場
第 1 回	7 月 24 日	全体会	行政評価の概要説明、部会設置、評価対象施策選定、日程調整	花巻保健センター
第 2 回 ～ 第 5 回	8 月 4 日	人づくり・地域づくり部会	ヒアリング、評価	まなび学園
	8 月 5 日	人づくり・地域づくり部会		
	8 月 6 日	しごと部会 暮らし部会		
	8 月 7 日	しごと部会 暮らし部会		
	8 月 18 日	しごと部会 暮らし部会 人づくり・地域づくり部会		
	8 月 19 日	しごと部会 暮らし部会 人づくり・地域づくり部会		
第 6 回	8 月 25 日	全体会	評価結果のまとめ	市役所本庁舎

				部会名	しごと部会
施策No.	1-4-1	施策名	観光の魅力向上	施策主管課	観光課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →目指す姿に沿っているが、不十分である。 ・目標値の設定は適切か。 →成果指標（観光施設、イベントの入場者数）の目標値設定は適切である。 ・他に考えられる指標はないか。 →各施設への入場者数、各イベントごとの入場者数。これら指標で測れないフリーの客のニーズをとらえる指標、外国人の入場者数の動向等の指標を考えるべきである。今回の評価の対象ではないが、平成26年度以降の交流人口拡大戦略と合わせて、市街地再生戦略も対象施策にもなっているので新たな指標を策定する必要がある。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 →妥当である。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →観光イベント開催事業への支援をもっと厚くしてはどうか。経済効果を勘案して、予算の適正な配分をしたらどうか。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か）。 →貢献度の評価・判断理由は妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →地域住民のニーズも把握し、市民参加型のイベントも必要である。「クラシック街道」への参加者の減少は、事業の再検討が必要ではないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →観光資源を十分に活用する事業、イベントにストーリー性（点として存在しているだけで、面としての連携が不十分なので）をもたせる事業が必要である。 ・他に考えられる事業はないか。 →観光客、市民の能動的なアクションをさそう事業。 今回の評価の対象ではないが、平成26年度以降の施策・事業と関連して、新たな事務事業があれば、それを加えてほしい。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →今後の方向性として、広域連携が必要であり、その際に花巻市がイニシアチブを取れるようにしてほしい（花巻市が独自で集客を考え、他市町村と協力していくという形で）。花巻地域の芸能文化・食文化をもっと追求して探し出してほしい。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →成果指標と施策の目指す姿がマッチしていない（整合性がない、ターゲットを絞るべき）。イベントごとの事業費の根拠が明示されていない。補助的な資料が必要である。指標が少ないので、評価が過小評価になりがちである。 				

				部会名	しごと部会
施策No.	1-4-2	施策名	観光情報の発信	施策主管課	観光課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →目指す姿に沿っているが、不十分である。 ・目標値の設定は適切か。 →観光協会HPへのアクセス件数の目標値は適切である。 ・他に考えられる指標はないか。 →観光協会HPへのアクセス件数だけでは不十分なので、更新(発信)件数、HPへの投稿件数。パンフレット配布数。外国人観光客用のパンフレット配布数。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 →アクセスカウント＝観光客数ではないので、より細かな分析が必要である。年間ではなく月ごとのカウント数の増減を分析し、観光、イベント時期の相違による要因が明確になる。グーグル等の検索サイトでの順位の変動なども考慮してはどうか。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →事務事業の予算が十分ではないのではないかと。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →「まちぐるみ観光推進事業」の評価がDであるのは低すぎる。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →観光協会の財政支援を多くして、民間の手法などを取り入れることが必要である。おもてなしについて、味、かおりも重要である。また、イベントの際に、コミュニティFMやツイッターなども活用して、混雑状況、駐車場情報等を発信してはどうか。 ・他に考えられる事業はないか。 →イベントの際に、コミュニティFMやツイッターなども活用して、混雑状況、駐車場情報等を発信してはどうか。情報発信について、海外や東京へのPRも大事であるが、近県、自動車利用者をターゲットにした施策、花巻空港と繋がっている発着空港との連携があってもいいのではないかと。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →今後の方向性として、他県協会との連携をもっと推進してほしい(特に、花巻空港発着地との関係で)。PR活動は大事で今後も増やしてほしい。加えて、必要があれば効果のあるものを見定め、ターゲットを明確にして投資していくべきである。市民参画型の観光事業も推進すべきである。花巻の立ち位置の分析が必要である。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →基本的に妥当である。施策の経済効果を測定する手法を取り入れてほしい。 				

				部会名	しごと部会
施策No.	1-5-2	施策名	特産品の開発	施策主管課	商工労政課
■内部評価について					
①成果指標について	<p>・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →目指す姿に沿っているが、不十分である。</p> <p>・目標値の設定は適切か。 →件数は適切である。ただし、予算執行状況が50%程度であるので、事業の周知活動等を通じて件数を増加させてほしい。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →付加価値の高度化が目標であるので、高度化がわかる指標を考えてほしい。実績は企業数に加えて、継続企業数も大事なので、継続企業数の推移に関する指標。さらに、それと関連して、企業へのフォローアップ回数など。</p> <p>・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 →特になし。ただし、これといった「特産品」が浮かばないことも事実。</p>				
②施策を構成する事務事業について	<p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →特になし。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →貢献度の評価・判断は概ね妥当である。はなまき大博覧会の事業費の割合を多くしても良いのではないか。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →アンケート等で市民ニーズを調査しているが、アンケートの更なる工夫、特産品開発についての市民からの意見を積極的に汲み上げることも必要である。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →産業情報発信事業(はなまき産業大博覧会)については、開催時期を再検討すべきではないか。企業活動総合支援事業については、更なる周知と、採択企業へのフォローアップを充実してほしい。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →6次産業化であるので、商工労政課と農政課と連携した事業も考えられるのではないか。産業情報発信事業については、はなまき大博覧会だけではなく、違う方法も考えてみてはどうか。</p>				
③施策の総合的な評価	<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →産業情報発信事業のみの課題と方向性(開催時期や内容)について記述されているので、企業活動総合支援事業についても記述すべきである。企業活動総合支援事業の課題として、採択企業のアフターケアについて述べるべきである。商工労政課と農政課との連携も進めていってほしい。これら事業を中長期的視点で考えてほしい。</p>				
④シート記載内容について	<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →取組実績、事業内容等は明瞭に記述されているが、施策の目指す姿を実現するかという観点でみると、③で既述した通り、必ずしも十分とは言えない。</p>				

				部会名	しごと部会
施策No.	1-5-3	施策名	企業誘致の推進	施策主管課	商工労政課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →目指す姿に沿っているが、不十分である。 ・目標値の設定は適切か。 →目標値はもっと高く設定しても良いのではないか(それに伴い、活動費を増額してもよい)。 ・他に考えられる指標はないか。 →新規雇用創出数、賃貸工場入居率、操業継続社数についての指標も加えてはどうか。 ・成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか。 →新規企業誘致数の推移の分析には特に問題なし。より詳細な分析として、上に指摘した指標の推移の分析、撤退企業(撤退要因)の分析をする必要がある。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →事業そのものについては特になし。ただし、1-2企業誘致推進事業において、訪問企業数のみではなく、訪問企業の業種別内訳を明記してほしい。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →貢献度の評価・判断理由は妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →市のHP上でのPRは問題ないが、もう少し工夫(動画の利用)があってもよい。誘致活動費の増額、市長によるトップセールス。 ・他に考えられる事業はないか。 →近隣他市の誘致事業との比較、分析を行って、花巻市の長所・短所を明らかにする事業。新たな工場団地の整備事業(環境への配慮と住民の意向への配慮を踏まえた)。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →課題と方向性としてインセンティブと工業団地の整備の検討が記述されているが、それぞれの具体的な内容があれば、明確に記述してほしい。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →多様な分野の多くの企業が立地していますという「施策の目指す姿」が抽象的すぎるので、マネジメントシートではより具体的な記述(ヒアリングの際に述べられていたように、例えば、自動車関連企業を誘致するとかの業種を絞って)があってもよいのではないか。 				

				部会名	暮らし
施策No.	2-5-1	施策名	地域福祉の推進	施策主管課	地域福祉課
■内部評価について					
①成果指標について		<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか →沿っている。 ・目標値の設定は、適切か →適切である。 ・他に考えられる指標はないか →特になし。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか →行っている。 			
②施策を構成する事務事業について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか →妥当である。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か) →「婦人相談事業」について、施策への貢献度が上がるよう、周知を行うなどして充実を図る必要があるのではないか。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか →特になし。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか →特になし。 ・他に考えられる事業はないか →特になし。 			
③施策の総合的な評価		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか →問題点・課題は妥当であるが、民生委員の負担軽減については、その役割を明確にしたうえで、早期の具現化が必要である。 			
④シート記載内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか →取り組み実績の「民間事業者と連携した高齢者見守り支援ネットワーク事業の開始」について、具体的な事業者の記載があれば良い。 今後の方向性である「社会福祉協議会の相談部門とのワンフロア化を図る」ことについて、現在の相談部門がどういった状況にあるのかなど、もう少し詳しい説明があると分かりやすい。 			

				部会名	暮らし
施策No.	2-5-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管課	長寿福祉課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか →沿っている。 ・目標値の設定は、適切か →適切である。 ・他に考えられる指標はないか →「生きがいを持って暮らしている高齢者の割合」について、高齢者でも後期高齢者になるとその割合が違ってくるのではないかと。高齢者と後期高齢者それぞれの生きがいの創出のため、成果指標の測定企画を、65歳から74歳までと、75歳以上に分けた方が良いのではないかと。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか →行っている。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか →認知症の対応に関する事業を明確に起こすように整理できれば良いのではないかと。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か) →妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか →特になし。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか →特になし。 ・他に考えられる事業はないか →特になし。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか →在宅療養の充実を図ることについて、課題に盛り込んでどうか。 行政がリーダーシップを取り、医療・介護・福祉・地域のネットワークの充実を図る取り組みを課題として盛り込んでどうか。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか →事務事業一覧の実績数値について、対象者数の分母の記載があれば評価の判断ができる。評価しやすいような研究・整理をしてほしい。 				

				部会名	暮らし
施策No.	2-6-1	施策名	健康づくりの支援	施策主管課	健康づくり課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか →沿っている。 ・目標値の設定は、適切か →適切である。 ・他に考えられる指標はないか →特になし。 ・成果指標の経年推移についての的確な分析を行っているか →行っている。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか →妥当である。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か) →妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか →特になし。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか →特になし。 ・他に考えられる事業はないか →特になし。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか →課題である検診受診率が「低い」ことについて、他自治体と比べてなのか、市が目標とする数値に対して低いものなのか、低いことの基準が分からない。他市等と比較した場合であればその数値の記載があった方がよい。実際の受診率は前年比横ばいで推移しているため、受診の状況は悪くないとも見て取れる。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか →「自殺・うつ予防」を行っているのであれば、取り組み実績や事務事業一覧に記載するべきではないか。 測定企画の出典が市民アンケートである場合、母数の記載があった方がよい。 また、市民アンケートの回答者について、継続者・非継続者数等の情報についても記載があった方がよい。 				

				部会名	暮らし
施策No.	2-6-3	施策名	地域医療の充実	施策主管課	健康づくり課
■内部評価について					
①成果指標について		<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか →沿っている。 ・目標値の設定は、適切か →適切である。 ・他に考えられる指標はないか →「かかりつけ薬局を持っている市民の割合」についても成果指標に設定してはどうか。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか →行っている。 			
②施策を構成する事務事業について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか →救急医療だけではなく、不足している診療科目（産婦人科、小児科）の医療環境の充実を図る何らかの事業の項目を加えた方が良いのではないかと。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か（貢献度の評価・判断理由は適切か） →妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか →特になし。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか →特になし。 ・他に考えられる事業はないか →在宅療養の充実を図る取り組みがあれば良い。 			
③施策の総合的な評価		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか →在宅療養の充実を図る必要があるのではないかと。訪問診療医の確保等が望まれる。 			
④シート記載内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか →測定企画の出典が市民アンケートである場合、母数の記載があった方が良い。 また、市民アンケートの回答者について、継続者・非継続者数等の情報についても記載があった方が良い。 			

				部会名	人づくり
施策No.	3-1-1	施策名	子育て支援の充実	施策主管課	こども課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし「他に考えられる指標はないか」も参照のこと。 ・目標値の設定は適切か。 →「市の子育て相談体制に満足している保護者の割合」「子育て支援サービスを実施可能な施設の割合」については適切である。ただし、「保育所の待機児童数」については、目標を「0人」にすることが現実的には困難であり、たとえば保護者の希望に対する「充足率」のような、指標を工夫する必要がある。 ・他に考えられる指標はないか。 →児童虐待に関する成果指標が必要である。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 →行っている。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →過なものはない。不足については「他に考えられる事業はないか」を参照のこと。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →貢献度の評価・判断理由は適切である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。ただし、市による取り組みではなく、行政と市民との協働を伴う方法を用いることで、市が直接関与すべき範囲が明確になる事業もある(たとえば地域の高齢者に子育て支援に協力してもらうなど、保育士を伴わない方法による子育て支援の取り組み)。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →たとえば子育て環境の不安定化・孤立化の問題に関する対策の成果向上については、同じ問題への対策を含む「家庭の教育力向上」などの他の施策との連携が必要である。また、成果向上のために追加すべきものについては「他に考えられる事業はないか」を参照のこと。 ・他に考えられる事業はないか。 →現状の事業一覧では、児童虐待対策がどの事業に含まれるのか不明確である。虐待の未然防止策も含めて独立した事業とすべきである。また保育士確保の取り組みや、保育士配置を伴わない形で地域の企業や高齢者に子育て支援に協力してもらう取り組みも必要である。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →おおむね明確になっている。ただし児童虐待については、(課題)や(今後の方向性)の中で掘り下げた記述が必要である。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →「4 施策を構成する事務事業一覧」の各事業が、「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」の(1)~(4)のどの部分に対応するのか整理されていない。そのため、施策のどの取り組みが、どのような事業で構成され、各事業がその取り組みにどの程度貢献しているのか把握しにくい。施策の状況を的確に評価する上でも、事務事業一覧における各事業の記載方法について工夫が必要である。 				

				部会名	人づくり
施策No.	3-1-2	施策名	家庭の教育力向上	施策主管課	こども課
■内部評価について					
①成果指標について		<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。 ・目標値の設定は適切か。 →家庭を取り巻く状況の悪化を踏まえれば、現状維持を目指す方向性は適切と考える。 ・他に考えられる指標はないか。 →特に意見なし。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 →特に意見なし。 			
②施策を構成する事務事業について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →下記「他に考えられる事業はないか」を参照のこと。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →貢献度の評価・判断理由は妥当である。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →ない。 ・他に考えられる事業はないか。 →「どのようにして子どもに寝かせていけばよいか分からない」との保護者の声に対応する方策として、三世代交流の促進や、祖父母の子育て体験を伝える機会を設ける事業があつてよい。 			
③施策の総合的な評価		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →施策評価シートの「施策の総合的な評価」の記載内容が、各事業の事務事業マネジメントシートの「総合評価」の内容を必ずしも適切に反映していない(青少年活動推進事業の総合評価の内容である「家庭教育講座については、小学校での開設機会が減少していることから、事業実施の方法、周知の方法など、事業そのものの在り方から、検討したい」という部分が施策評価シートに反映されていない)。 			
④シート記載内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →特に意見なし。 			

				部会名	人づくり
施策No.	3-3-1	施策名	自主的学習の推進	施策主管課	生涯学習交流課
■内部評価について					
①成果指標について		<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、下記の「他に考えられる指標はないか」に記載の意見が出された。 ・目標値の設定は適切か。 →適切である。ただし、設定理由として、近隣の市の状況を参考にすることが分かると尚のぞましい。 ・他に考えられる指標はないか。 →生涯学習に関しては、生涯学習の受講(施設利用状況、講師出講回数、1講座あたり受講者など)に関する指標があって良い。また図書館に関しては、「図書館の利用者数」の指標があって良い。 ・成果指標の経年推移についての確かな分析を行っているか。 →特に意見なし。 			
②施策を構成する事務事業について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →下記「他に考えられる事業はないか」を参照。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →図書館整備の貢献度の判断理由が分かりにくい。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。ただし、生涯学習(特に若い人対象)に関しては、市以外の様々な団体でも行われており、市を含めた関係団体間での意見交換などの機会があると、市の関与のあり方がより明確になるのではないか。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →映画会については、現行の16ミリ映写機を用いた方法だけではなく、DVDなどの利用や、振興センターでの開催など、開催のあり方に工夫の余地がある。 ・他に考えられる事業はないか。 →市内での生涯学習に関する取り組みが見渡せる「掲示板」のようなものを作ると、市民が、市を含めた様々な団体で行われている生涯学習にアクセスしやすくなるのではないか。 			
③施策の総合的な評価		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →市民一人当たりの図書貸出数が低下しているという課題と、それに対する今後の方向性について記載が必要である。 			
④シート記載内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →事業名と事業内容の対応が分かりにくい。 			

				部会名	人づくり
施策No.	3-3-2	施策名	青少年の社会教育	施策主管課	生涯学習交流課
■内部評価について					
①成果指標について		<p>・成果指標の項目は施策の目指す姿に沿っているか。 →成果の把握に関する予算的・技術的などの制約を考慮すれば、現状では目指す姿に沿っていると判断する。ただし、活動参加の有無を集計した数字は厳密には「成果」とは言えないため、「成果」の把握について工夫の余地がある。また、意識調査を指標とする場合は母数を明記すべき。</p> <p>・目標値の設定は適切か。 →最終的な目標値に向けて少しずつ目標をあげていく方向性は、現実的かつ妥当と判断する。</p> <p>・他に考えられる指標はないか。 →施策レベルの成果指標は、上述の通り現状ではこれでよい。ただし事業レベルの指標については、不十分などところがある(家庭教育講座の出席者数、キャンプ参加者の満足度)。</p> <p>・成果指標の経年推移についての確な分析を行っているか。 →施策評価シート「3成果指標の達成状況」の記述(参加者の増加は見られるものの、直接活動に関わる市民は減少している)が、どの指標を根拠としてなされているのか不明確である。</p>			
②施策を構成する事務事業について		<p>・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →地域行事やボランティアについては、一般市民の生涯学習や、学校教育とも関連するため、これらの関係する施策の事業との連携によって、青少年対象のこの施策の取り組みもより効果的になると考える。</p> <p>・目指す姿の実現に貢献している事業か(貢献度の評価・判断理由は適切か)。 →妥当である。</p> <p>・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。</p> <p>・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →ない。</p> <p>・他に考えられる事業はないか。 →かつて存在した「青少年団体連絡協議会」のような、青少年関係団体間の横のネットワークが必要である(必ずしも行政が仕切る必要はない)。また「青少年関係団体への補助」の対象が、現状ではこの事業の存在を知っている一部の団体に限られていると考えられるため、補助に関する情報提供など、市内の他の団体にも補助を受ける機会を平等に与える配慮が必要である。</p>			
③施策の総合的な評価		<p>・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点・課題が明確になっているか。 →(課題)の「子どもの頃から学区を越えた交流や体験活動の機会を設ける必要がある」の記述の根拠が、どの配布資料の中にも見当たらない。また(今後の方向性)の内容が、いずれも現状認識にとどまっている。これらの認識を踏まえた記述(ヒアリングや口頭説明での発言要旨など)の追加が必要である。</p>			
④シート記載内容について		<p>・施策の取り組み実績や、事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →上記各項目に関連意見があるため、改めての意見はない。</p>			

行政評価に関する提言

- 事前に配付される資料については、評価する1か月前にはいただきたい。あらかじめ資料に目を通す時間に余裕があれば、より効果的な評価ができると感じた。
- 参考資料について、不足を感じた。各課で持っている資料で、評価の参考となるものをもっとあると思うので、提示してほしい。
- 成果指標の設定について、税金が公平・公正に使われているかという観点は大切である。その意味で予算が市民にきちんと還元されているのかという視点は重要だと思う。経済活動に係る事業についてはその成果であるとか、福祉分野であれば意識がどう変わったかなど、有効な成果指標の設定について今後も研究を重ねていただきたい。
- 類似している事業が施策をまたがって存在し、それをそれぞれの課で評価を行っているように見受けられる。他課との連携による評価や、評価単位となる施策の設定について検討するべきではないか。
- 成果指標がアンケート結果によるもの場合は、アンケートの母数（配布数や回収数など）の説明が必要ではないか。

花巻市行政評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 市の行政評価の客観性と透明性の向上を図るため、花巻市行政評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 市が実施した行政評価の結果について評価すること。
- (2) 行政評価の改善について市長に提言すること。
- (3) その他行政評価に関し意見を述べること。

(組織)

第3条 委員会は、委員18人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体等から推薦された者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 公募による者

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3

副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(部会)

第5条 委員会に部会を設ける。

2 部会に属すべき委員は、委員長が委員の意見を聴いて指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選とする。

4 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長が指名する部会に属する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、政策推進部において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成23年7月26日から施行する。

(経過措置)

2 平成23年度において委嘱する委員の任期については、第3条第3項の規定に関わらず、委嘱の日から平成25年3月31日までとする。

委員名簿

任期：H25.10.16～H27.10.15

区分	所属団体等	氏名	部会	備考
(1)公共的団体等から推薦された者	花巻農業協同組合	瀬川 公	しごと	
	花巻商工会議所	小山田 雅一	しごと	
	社会福祉法人花巻市社会福祉協議会	伊藤 千春	暮らし	
	花巻工業クラブ	佐藤 忠司	しごと	
	社団法人花巻観光協会	高橋 誠	しごと	
	花巻市PTA 連合会	佐藤 裕司	暮らし	
	花巻市食生活改善推進協議会	中村 純子	人づくり・地域づくり	
	社団法人花巻青年会議所	久保田 龍介	人づくり・地域づくり	
	財団法人花巻市体育協会	尾美 裕功	人づくり・地域づくり	
	花巻市芸術協会	福盛田 弘	人づくり・地域づくり	
	東北税理士会花巻支部	戸来 一夫	暮らし	
社団法人岩手県建築士会花巻支部	木村 直樹	人づくり・地域づくり		
(2)学識経験を有する者	学校法人富士大学経済学部教授	影山 一男	しごと	副委員長 部会長
	学校法人富士大学経済学部教授	鈴木 健	暮らし	委員長 部会長
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部准教授	堀籠 義裕	人づくり・地域づくり	部会長
(3)公募による者	公募委員	折居 健	しごと	
	公募委員	高橋 セキ子	暮らし	
	公募委員	佐々木 和彦	人づくり・地域づくり	